

かなから教えていませんか

はじめに「漢字で教育」石井式漢字教育の本質を振り返る

「幼児にとっては、漢字はかなよりずっと覚えやすい」こと、そして
「鳩は鳥よりも覚えやすく、鳥は九よりも覚えやすい」ということの発見
から、幼稚園で漢字教育を行うべきであることを主張したのは、昭和
42年のことです。

賛成と反対の中で

幼児には、漢字教育が絶対に必要
です。漢字は、何よりも幼児の能力を
大きく開発する力を秘めた道具であり、

しかも、幼児は漢字を学ぶことによって失うものは、何一つありません。
それらのことはすべて十分に証明済みです。

ところが、それが一般にはなかなか理解されません。また、教育界
を指導する学者たちは、私の発表を素直に受入れることが出来ない
のです。

最初は、たった一つの幼稚園の実践から、それも全く四面楚歌の
中で始められたこの教育が、今は亡き井深^{いぶかまさる}大会長の下に幼児開発
協会が創設されることにより、多湖^{たこあきら}輝先生、鈴木^{すずきしんいち}鎮一先生始め、多く
の先生方の賛同と支持を得て、今や全国に広がり、数多くの幼稚園、
保育園で実施されるまでに発展して来たことは、実に感慨深いものが

あります。

コラム

部首 寸

古い形は手の象形に脈所の位置を示した・のしるしを加えた指
事字。手首から脈所までの距離を短い長さをはかる時の単位と
し、これを「寸」と言う。一寸の十倍を一尺、十尺を一丈。

部首としては“基準”“きまり”の意味。また単に“手”(又)の意味
に使われることも。

【導】 “頼るべき基準(寸)に従って人を道びく”こと。

【尊】 “酒を入れた酒器を捧げ持って、神または貴人にそなえ
る”ことを表した字。古い字形はで、両手で酒がめを捧げ
ている形。酒を供えるのは相手を“たつとぶ”心の表れであ
るところから、“たつとぶ”を表した。